

防災 TODAY No.3

「停電・通電火災のお話」

地震、火災、台風、降雪等、停電が起こり得る案件は多数あります。近年、都市部においてのインフラ復旧は素早く行われておりますが長期間に及ぶことも念頭に入れておかなければなりません。ご自宅、診療所から一時避難する時にお役立てください。



裏面記載参照

- 停電時でも使用できる器具
- ・使い捨てカイロ
 - ・うちわ
 - ・懐中電灯（乾電池）
 - ・石油ストーブ
 - ・カセットコンロ（カートリッジ数本）
 - ・ろうそく（ライター、マッチ）
 - ・モバイルバッテリー（携帯電話）
 - ・冷蔵庫保冷剤（冷凍室へ飲食物移動）等。

その他、お気づきの点がございましたら各区災害対策委員までお教えてください！

お待ちしております！

通電火災にご注意を!!

「通電火災」とは、停電から電気が復旧することによって発生する火災のことをいいます。

最近では、台風の被害による停電からの復旧時にたびたび通電火災が発生していることから多くの方が不安を感じているのではないのでしょうか。

通電火災は防げます！ 出火防止対策を心掛けましょう！



事例 1

アイロン等の電源が入ったまま再通電して、接していた可燃物を過熱して出火



対策

再通電しても出火危険がない状態にしておく！

- ・停電時に家を空ける際にはブレーカーを落としましょう！
- ・停電中は電気機器のスイッチを切るとともに電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



事例 2

電線、引込線、屋内配線の損傷により、通電時にショートや漏電を引き起こし発生した火花により出火



対策

再通電させる前に、家の周囲や室内を確認する！

- ・電線が切れていないか
- ・引込線が傷ついていないか
- ・目で見て確認し、異常があれば電気業者に連絡しましょう。



事例 3

分電盤、家電等の電気機器の内部が水に濡れたことにより、基盤にショートやトラッキングが発生し内部から出火

対策

再通電させる前に、電気機器を確認する！

- ・電源が入ったままになっていないか
- ・周囲に燃えやすい物がないか
- ・本体や配線に損傷がないか
- ・確認しましょう。
- ・一度水に浸かってしまった電気機器は使用せずにメーカーに相談しましょう。